

国語科における「主体的に学習に取り組む態度」の評価方法リーフレット

「主体的に学習に取り組む態度」の評価について、こんなことお悩みではないですか？



「話すこと・聞くこと」の領域の授業では、どうすればいいのかな？
→ p. 5 ~ 7

読解中心の授業になってしまっているけど、生徒の成長を評価しにくいな
→ p. 2 ~ 4

評価材料をたくさん集めるために、提出物を増やしたりしないといけないのかな？
→ p. 9・12・13



目次

- 府立学校 実践事例① 令和版『ありがたきもの』を執筆しよう【p. 2 ~ 4】
- 府立学校 実践事例② 『議論する力』を育てよう【p. 5 ~ 7】
- まとめ【p. 8 ~ 9】
- 参考資料【p. 10 ~ 14】

府立学校 実践事例① 令和版『ありがたきもの』を執筆しよう

単元の目標

科目：言語文化 題材：清少納言『枕草子』

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
古典の世界に親しむために、必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解できる。 学習指導要領を基に目標をたてます	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈できる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

単元の評価規準(=実現したい生徒の姿)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・形容詞と形容動詞の活用形、口語文法との違いを理解している。 ・同じ用言の中で動詞・形容詞・形容動詞の活用の違いを理解している。	・日常生活の「ありがたきもの」を取り上げ、本文中の意味を前提にした根拠を述べている。	・「ありがたし」と事物との関係性を意欲的にとらえ、その事物がなぜ「ありがたし」と評されているのかを考え、 自身の見解を述べようとしている 。 ・他者の答えを自分なりに分析し、「ありがたし」と感じる場面の特徴について 自身の見解を述べようとしている 。

評価規準は学校の実態に合わせて、実現したい具体的な生徒の姿を設定します

単元の流れ

動詞の活用を思い出し、形容詞・形容動詞の活用の法則性を見つけ出す（1時間）

本文の音読をする 文法の確認をする（1時間）

列挙されているものが、どうして「ありがたし」なのかを考える（1時間）

日常生活の「ありがたきもの」を根拠とともに考える（1時間）

自身の見解と他者の見解を比べ、振り返る（1時間）

詳細はp.11でお示しています！

「主体的に学習に取り組む態度」の総括的評価

(1) 評価場面：令和版『ありがたきもの』の執筆（フォームへの回答）

第4時

「思考・判断・表現」の評価に活用します

- 1 「ありがたきもの」の本文の内容が、時代を問わず現代でも共感できるものか、平安時代に特有のものかを区別する
- 2 日常生活の中で「ありがたし」とされるものをイメージし、令和版の「ありがたきもの」を書く
- 3 プリントに複数（3個程度）書いたもののうち、代表の1個を選び、根拠とともに入力する
- 4 クラス全員の「ありがたきもの」とその根拠を一覧にして共有する
- 5 共有した一覧について、以下3点に回答する
 - ①自身が共感したものの5個を選ぶ
 - ②時代を問わないと思う「ありがたきもの」を複数選ぶ
 - ③令和の時代に特有の「ありがたきもの」を複数選ぶ

根拠を添えさせることで思考の過程を見取りやすくします

第5時

「主体的に学習に取り組む態度」の評価に活用します

- 1 振り返り：前回の投票結果を分析し、フォームで以下の問いに回答する
 - ① 前回の授業で自分が考えた「ありがたきもの」を書く
 - ② ①で挙げたものがなぜ「ありがたし」なのか
 - ③ クラスの上位にランクインした「ありがたきもの」の勝因は何か
 - ④ 「時代を問わない『ありがたきもの』」にはどのようなものがあるか

※この①②③④は、次のページの表の①②③④と対応している

根拠を添えさせることで思考の過程や自分なりに分析しようとしている様子を見取りやすくします

第5時の振り返りで使用したフォーム画面

【ふりかえり】令和版「ありがたきもの」

前回の授業で自分が考えた「ありがたきもの」を書いてください。*
(例)晴天のプール開き。

回答を入力

その「もの」がどうして「ありがたし」なのか、解説をどうぞ。*
(例)最初のプールの授業、梅雨と被って雨&寒い日になりがち。

回答を入力

ドキュメントに載っている「ありがたきもの」のグラフを見て答えましょう。

「3組生徒が選んだ『ありがたきもの』」上位にランクインしたものの勝ち因*を分析して書こう。

回答を入力

(2) 判断基準

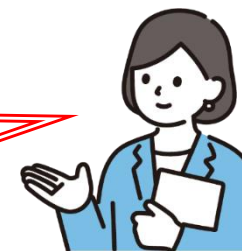
「十分満足できる」状況(A)	「概ね満足できる」状況(B)
「振り返り」において、①に対する②の理由が妥当であり、③では「全体」への視点、④では「人間性」に触れた上で自身の見解を述べようとしている。	「振り返り」において、①に対する②の理由が妥当であり、③④で自身の見解を述べようとしている。

「努力を要する」状況(C)と判断された生徒に対する支援のてだて
「上位になったもの」「時代を問わないもの」を再確認、共通点を考えさせた上で、自身の見解が表現できるように支援する。

④「ありがとう」の普遍性

③多くが「ありがとう」と感じる場面の特徴

3つの条件(下線部)をすべて満たす場合は A
 1~2つの条件を満たす場合は B
 それ以外は C とします



(3) 生徒の振り返りと評価事例 (一部抜粋)

①自分が考えた「ありがたきもの」	② ①の理由
忘れ物をしたことがない人	教科書や提出物を忘れたことがない人は <u>めったにいない</u> から。 ○
スマートフォン	生活する上で便利だから。 ×

③上位になったものの勝因
<u>全員</u> が共感できることが多かったり、言われてみればそうかもと思うことが多かったりしたから。 ○
学生ならではの <u>あるある</u> だから共感しやすかった。 ×

④「時代を問わない『ありがたきもの』」の特徴
「もの」ではなく、 <u>人の「気持ち」</u> や「行動」に関するものが多い。 ○
『ありがたきもの』のように、時代特有のものや文化が出てこないようなもの。 ×

問いを裏返しているだけで特徴を捉えていない

府立学校 実践事例② 『議論する力』を育てよう

単元の目標

科目：現代の国語
 ディベートのテーマ：『救急車有料化』
 『動物園・水族館の廃止』

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
主張と論拠など情報と情報の関係について理解できるとともに、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。	自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

学習指導要領を基に目標をたてます

単元の評価規準(=実現したい生徒の姿)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 主張と論拠を分けて示し、論拠が複数ある場合は数字を示して述べている。 自身の意見を構築するために信頼できる情報源を用いて正しく引用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 肯定側と否定側の両方の立場で説得力のある立論を作成している。 自分の作文や相手のスピーチに対して効果的な反論を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 客観的な視点から自身の見解や工夫を述べようとしている。 改善策を考え、自身の学習に生かそうとしている。

評価規準は学校の実態に合わせて実現したい生徒の姿を設定します

単元の流れ

ディベートの概要と流れを知る（1時間）
 ピンポンディベートを行う（簡単な内容で練習する）

テーマについて個人で調べ、立論を作成する（1時間）

調べたことを班で持ち寄り、立論を作成する（1時間）

反論や予想される質問を考える（1時間）

ディベートを行う（20分×2戦×2回）（2時間）

自分自身の役割を果たせたか、勝因・敗因を振り返る（1時間）

詳細はp.12でお示ししています！

「主体的に学習に取り組む態度」の総括的評価

第7時の振り返りで使用したフォーム画面

(1) 評価場面：ディベートの準備・本番と振り返り

「思考・判断・表現」の評価
に活用します

第4時（第5・6時はディベート本番）

- 1 調べたデータを基に立論を作成する
 - ① 肯定側立論
 - ② 否定側立論
- 2 反論や予想される質問を考える
 - ① 否定側反論
 - ② 肯定側反論
 - ③ 質問
 - ④ 質問への応答
 - ⑤ 最終弁論
- 3 班で役割分担をする。

ディベート本番でどちらの立場になるかわからないため、肯定側・否定側両方の立論を作成します

「主体的に学習に取り組む
態度」の評価に活用します

第7時

- 1 振り返り
 - ① 自分自身の役割を果たせたか
 - ② チーム全体の主張を振り返っての勝因または敗因

個人・チームとしての振り返りを行い、
広い視野で単元を振り返ります

「ディベート」振り返り

フォームの説明

次の場面で、自分が取り組めたこと、もっとやっておけばよかったことを挙げ、100字程度で述べなさい。

説明（省略可）

グループでの事前準備*

グループにどれだけ貢献できたか、当日焦らないように気をつけた点など

記述式テキスト（長文回答）

試合本番*

自分の役割、チームワーク、臨機応変に対応できたかなど

記述式テキスト（長文回答）

ディベートの学習を踏まえて学んだことについて、次の質問に答えなさい。

説明（省略可）

事前準備から本番までの作業や課題の中で、一番悩んだ・しんどかったことは何ですか？ また、一番頭を使った・工夫したことは何ですか？ *

記述式テキスト（長文回答）

(2) 判断基準

「十分満足できる」状況(A)	「概ね満足できる」状況(B)	「努力を要する」状況(C)と判断された生徒に対する支援のてだて
「振り返り」において、客観的な視点から <u>自身の見解や工夫を述べるとともに、改善策を考え、自身の学習に生かそうとしている。</u>	「振り返り」において、客観的な視点から自身の見解を述べようとしている。	自分の役割とチーム全体の主張を再確認させたうえで、身についたことと改善が必要なことを振り返らせ、自身の見解が表現できるように支援する。

(3) 生徒の振り返りと評価事例（一部抜粋）

客観的な視点から自身の見解を述べようとしています



剽窃になっていないか、説得力があるかを確認しないといけなかったから、立論を立てるのが一番大変だった。どんな質問がくるかを予想して、その回答を考えるところも難しかった。

具体的な工夫と気づいたことを言語化しています



立論の際、聴衆や相手のグループがしっかり納得できるようにするのが難しく、**できるだけ要点をコンパクトに伝えられるように文を減らすなどの工夫**を行った。また、班の意見をまとめる役割であったが、みんなが提案してくれる豊富な資料の**どこを削ればよいのか、とても悩んだ**。今後は自分たちの立論を支えるのに一番効果的な資料を選べばよいということが分かった。

改善策を考え、自身の学習に生かそうとしています



国語科の評価の観点及びその趣旨

【文部科学省「各教科等の評価の観点及びその趣旨」より】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な 国語 について、その 特質を理解し適切に使っている 。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における 他者との関わり の中で 伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている 。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている 。

そもそも国語科の「主体的に学習に取り組む態度」って何？
生徒のどのような姿を評価したらいいのかな？

言葉を通じて他者と関わったり、思いや考えを深めたりするのは、「思考・判断・表現」と共通する場面ですね！
そして、「**言葉の価値への認識を深め、効果的に使おうとしている**」かを評価するのか！



国語科においては

「主体的に学習に取り組む態度」は、この観点単独で評価するのではなく、「思考・判断・表現」の観点とともに評価するとよい



そのために教員は、

他者と関わりあったり、自分の思いや考えを深めたりしながら、**いかに「自分ごと」として考えて、言葉に向き合っているかを表現する言語活動の場面（パフォーマンス課題 等）**

それにより

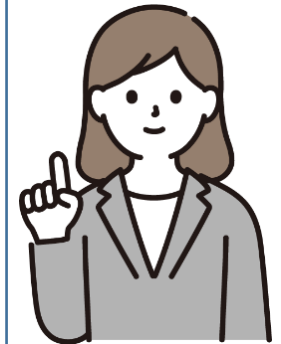
を設定する

上記の場面が**自分にどのように作用したかを振り返る機会**を持たせ、

- 根拠を示し、思考過程を言語化すること
- 自分の見解や他者の見解を分析すること
- 具体的な工夫を言語化すること
- 他者からの学びで生かしたことを表現すること

実践事例①

実践事例②



で評価することができる

参考資料

- (1) 答申で示された国語科の課題と学習指導要領で示された国語科の目標
- (2) 府立学校の実践事例① 令和版『ありがたきもの』を執筆しよう
- (3) 府立学校の実践事例② 『議論する力』を育てよう
- (4) 文部科学省や府教育庁等が作成した資料



答申で示された高等学校国語科の課題

・高等学校の国語教育においては、**教材の読み取りが指導の中心になることが多く、国語による主体的な表現等が重視された授業が十分に行われていないこと**、話し合いや論述などの「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の領域の学習が十分に行われていないこと

・**古典の学習について、日本人として大切にしてきた言語文化を積極的に享受して社会や自分との関わりの中でそれらを生かしていくという観点が弱く、学習意欲が高まらないこと**

中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」

（平成28年12月、p127）

学習指導要領で示された国語科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

（1）生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

（2）生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】

（3）言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

参考資料（２）府立学校の実践事例① 令和版『ありがたきもの』を執筆しよう

単元の指導と評価の計画（全5時間）

●…形成的評価、○…総括的評価

時	学習内容 [何を学ぶか]	学習活動 [どのように学ぶか]	評価の観点			評価規準【観点】（評価方法等） [何ができるようになるか]
			知	思	主	
1	用言の学習 ・動詞の復習 ・形容詞・形容動詞・音便	・動詞の活用を思い出し、形容詞と形容動詞の活用の法則性を見つけ出す。 ・品詞カードで活用形を答えるリレーを行い、競い合いながら知識の定着を図る。	●			・形容詞と形容動詞の活用形の特徴、口語文法との違いを理解している。【知】（観察）
2	本文の音読 用言の確認	・本文中の用言に線を引く、それぞれ文法的説明をする。 →黒板に書いて答え合わせ	●			・用言それぞれの活用の違いを理解し、品詞の種類に即した文法的説明をしている。【知】（観察）
3	本文の内容 「列挙されているものがどうして『ありがたし』なのか」	・「ありがたし」とされる事物を確認する。 ・人間性や人間関係については現代生活での具体例を想像する。 ・平安時代特有のものについては、ペアで理由を考える。		●	●	・「ありがたし」と挙げられている事物との関係性に注目している（事物の特徴や時代背景など）。【思】（ワークシート） ・その事物がなぜ「めったにない」と評されているのかを考え、自身の見解を伝えようとしている。【主】（ワークシート）
4	言語活動 令和版「ありがたきもの」を執筆しよう	1 本文中の「ありがたきもの」を時代性で区別する。 2 日常生活の「ありがたきもの」をプリントに書く。 3 ひとつを選び、根拠とともにドキュメントで共有する。 4 フォームで投票し、結果をリアルタイムで確認する。	●	○		・本文中の「ありがたし」という単語の意味を正しく理解している。【知】（プリント、ドキュメント） ・日常生活の「ありがたきもの」を取り上げ、本文中の意味を前提にした根拠を述べている。【思】（フォーム）
5	振り返り	前回の投票結果（棒グラフ）を見て、なぜその結果になったのかを分析し、フォームで回答する。			○	・投票結果を自分なりに分析し、「ありがたし」と感じる場面の特征について自身の見解を述べようとしている。【主】（フォーム）

第4時で終わってしまうことはありませんか？
結果だけで終わらず分析することで、思考をまとめ、次に生かすことができます

評価場面を精選
します

※「知識・技能」の総括的評価は定期考査で行う。



参考資料（3）府立学校の実践事例② 『議論する力』を育てよう

単元の指導と評価の計画（全7時間）

●…形成的評価、○…総括的評価

時	学習内容 [何を学ぶか]	学習活動 [どのように学ぶか]	評価の観点			評価規準【観点】（評価方法等） [何ができるようになるか]
			知	思	主	
1	①ディベートの概要、流れについて ②これまでの学びをどのように活用するか ③ピンポンディベート	②学んできたことをすべて生かす必要があることを意識する。 （スピーチや作文の論理構成、出典の探し方や示し方、合意形成、根拠の挙げ方や示し方、シンパシーとエンパシーの違い） ③効果的な主張、反論とは何かについて考える。 ・主張と反論を練習してみる。 ・ペアの話を聞いて吟味する。	●			③話すペア：与えられたテーマについて自身の意見を述べ、相手の意見を引用しながら反論している。 聞くペア：相手の意見を聞き、議論の展開を明確にまとめている。【知】（ワークシート）
2	テーマについて考える ①「救急車有料化」 ②「動物園・水族館の廃止」 個人課題に取り組む	・テーマについて調べ、前提条件について検討する。 ・具体的なデータやニュースの記事などの情報源を参照しながら立論を組み立てていく。		●	○	・主張と根拠が分かれており、理解しやすい立論を作成している。【思】（ワークシート） ・様々な情報源にあたるなど、説得力を増すため具体的な工夫をしようとしている。【主】（フォーム）
3	5人×8班に分かれて、テーマについて調べたことを持ち寄る	・議題のメリットデメリットを挙げ、肯定否定それぞれの立論を作成する。	●			・議題の功罪を整理し、肯定否定それぞれの立論が同じ説得力で作成している。【知】（ワークシート）
4	テーマについて議論を深める 当日に向けて班で役割分担をする	・立論が作成できたら、予想される質問や反論を考える。 ・肯定側立論 否定側反論 否定側立論 肯定側反論 質問 質問への応答 最終弁論		○	●	・自分の作文や相手のスピーチに対して効果的な反論を考えている。【思】（ワークシート） ・ディベート全体の流れを理解したうえで自分の役割を果たすための準備をしようとしている。【主】（観察）
5 ・ 6	ディベート 各回2戦ずつを予定	・20分×2戦を2回で行う。 ・出場時は振り返りを、聴衆時は採点をする。		○	●	・出場時の発言：自身の役割の際に、事前の準備を生かして発言している。【思】（観察） ・聴衆時のメモ：ディベート内の論理の流れをつかみ、そのうえで勝敗を判断しようとしている。【主】（観察）
7	振り返り	・自分の役割に対する反省を行う。 ・チーム全体の主張を振り返っての勝因または敗因を分析する。			○	・客観的な視点から自身の見解を述べようとしている。【主】（フォーム） ・改善策を考え、自身の学習に生かそうとしている。【主】（フォーム）

ディベート後に短時間で振り返りをすませるのではなく、1時間余裕をもってしっかりと個人とチームでの振り返りを行うことで、「主体的に学習に取り組む態度」を育み、その姿を評価することができます

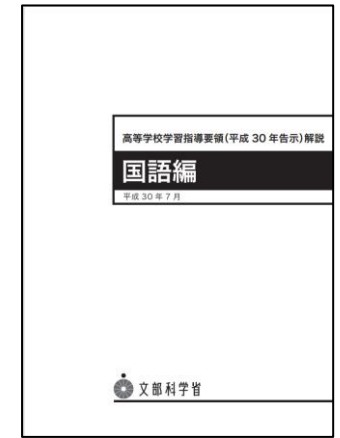
評価場面を
精選します

※「知識・技能」の総括的評価は定期考査で行う。

参考資料（４）文部科学省や府教育庁等が作成した資料

- ・ 高等学校学習指導要領解説 国語編

https://www.mext.go.jp/content/20210909-mxt_kyoiku01-100002620_02.pdf



- ・ 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料
高等学校 国語

https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_kokugo.pdf



単元目標→評価規準→指導計画→パフォーマンス課題と採点の基準→評価結果の例、と順番で示されています

- ・ 「観点別学習状況の評価」実施の手引き 各教科事例集

<https://www.osaka-c.ed.jp/category/forteacher/pdf/kanntenbetsu%20.pdf>



観点別評価について、ペーパーテストやパフォーマンステストでの評価規準の例が記載されています